



FERRIS
UNIVERSITY

2020 No.18

創立150周年記念

フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい
フィリピの信徒への手紙—2章4節

2020年度 以下の行事が中止となりました。

- 6月13日 大学合同総会
- 10月10日 150周年記念式典
- 12月12日 中高大学同窓会クリスマス礼拝

ワークキャンプの思い出

理事長 亀徳 忠正



今から50数年前の暑い夏の思い出です。

当時私は所属する鳥居坂教会の青年会長をしておりました。青年会が教会の外に出て、何か社会奉仕活動が出来ないものかと考えていた処、湯河原の城山学園という社会福祉施設が若者の労働奉仕を求めていることを知りました。城山学園は親と死別若しくは親から育児放棄された子供達を養護するキリスト教系の施設で、多くの方々の物心両面の支援で成り立っておりました。園長はキリスト教の牧師でもある金子先生という方でした。私達に課せられた労働奉仕とは、将来第二園舎を造る為に、密柑山の急な斜面に石垣を組んで平地を整備するというものでした。約30人の男女が空き地にテントを張って寝食を共にしながらの10日間の労働は皆若かったとはいえ、相当に過酷なものでした。厳しい労働の心の支えは偏に「人のために役立っている」という奉仕の気持ちでした。私達はある時、金子先生からお話を聞く機会があり、そこで思いもよらない言葉、今でも心に響く言葉

を伺うことが出来たのでした。「君達の仕事は学園にとつて大変有難いもので心から感謝している。その前提で言うが、君達の仕事は君達自身の為のものである事を忘れないように。働いておられるのは神様であつて、君達は神様に用いられているのだ。そのことに感謝をしなさい。」

フェリス女学院の教育のモットーは、For Othersです。「他者の為に」する行為は、神様の御心にかなう行為でなければならず、神様の働きに私達が用いられた行為でなければ、他者の名を借りた独善の行為になると私は思うのです。

*

フェリスを卒業された皆様は、For Othersに対するそれぞれの思いを胸に、日々を歩んでおられることと思います。また、母校に対するお気持ちを様々な形でお寄せくださり、それによって学院が強く支えられていることに、いつも感謝しております。

150周年記念募金の最後の年である今年、引き続き同窓生の皆様からの重ねてのお力添えを、この場をお借りしてお願い申し上げます。



思い通りにならない生活

学院長 鈴木 佳秀



西暦2020年の今年、フェリス女学院は、創立150周年の記念式典を10月10日に開催する予定でした。しかし、全く予期していなかった新型コロナウイルスの蔓延という非常事態のため、残念ながら中止とせざるを得ませんでした。だからと言って、フェリス女学院の歴史がここで止まってしまうわけではありません。それは言うまでもない事です。この状態を乗り切って、明日のフェリス女学院を目指して、教職員一同が忍耐しつつ、総力を上げて取り組んでいることを、感謝をもってお伝えしておきたいと思えます。

自分のこれまでの人生を顧みても、このような事態を直に経験するのは初めてでした。過去にも、伊勢湾台風や、新潟の中越地震、東日本大震災のような出来事もありましたが、自分の生活そのものを変えざるを得ないような、大きな影響を与える事態とはなりません。だからと言って、そうした震災を軽く考えている訳ではありません。今回のコロナウイルスの蔓延は、自分の毎日の生活そのものを変えるほど大きな影響を与えたという点で、これまでにない危機感を抱くに至ったと言えます。

大学では、通常の授業が出来なくなることを察知し、他よりも早く対応を考え、遠隔授業の準備を始めていました。無論、学位授与式や卒業パーティーは中止になり、入学式も取り止めになりました。新入生の方々が、どのような思いで生活されているのか、それがまるで自分のことのように切実に感じられます。

それは、個人的にも毎日の生活のリズムを変えることを余儀なくされたからです。いつもより1時間以上も早朝に起床し、時差出勤を始めました。満員電車を避けるためです。スーパーマーケットに買い物に出る場合も、混雑する時間帯を避けています。かつてインフルエンザが流行していた時に、マスクは買いだめしていたので、これは助かりましたが、危機管理という言葉の重みを改めて教えられています。

一日も早く、学生諸君が元の生活に戻るように、祈る毎日です。フェリス女学院関係者の方々の、当たり前であった生活のリズムが、元の状態に戻るようにと願って止みません。教職員の方々が、生徒や学生諸君の苦しみを思い、大変な努力を積み重ね、尽力されていることに、改めて敬意を表したいと思います。

感謝とご報告

学長 荒井 真



フェリス女学院は、今年、創立150周年を迎えました。150年の間、私たちを導き、支えてくださった神様に心から感謝いたします。

コロナ禍のため、残念ながら記念式典は実施できませんでしたが、150周年を記念する事業は順調に進んでおります。大学記念事業(一次)で進めてまいりました「ラーニングコモンズ」は、4月3日に図書館内に完成しました。現在改修中の言語センターも今年度中にはお披露目できると思います。これも皆様からの温かいご支援とご協力のお陰です。

ラーニングコモンズとは、学生の自主的な学習を促す仕組みで、学生自らが、問題を設定し、議論を重ねながら正解を探っていく問題解決型学習(PBL:Project Based Learning)には不可欠な施設です。コモンズには、共有地や公共の広場といった意味がありますが、学習のために必要なさまざまな施設や資料をここに集め、開放的な雰囲気の中で談論風発がなされる環境を整えております。残念ながら、完成直後に「緊急事態宣言」が発令され、8月現在でも制限的な利用となっておりますが、今後、レポートや卒論などの学術的文章の作成を支援する機能なども整備いたします。一日も

早くコロナ禍が収束し、学生たちに活用されることを期待しています。

コロナ禍における大学の状況についてもご報告いたします。2019年度学位授与式、2020年度入学式、恒例の学外オリエンテーションなどは中止とし、前期は授業を遠隔方式で行いました。また、全教員に対する遠隔授業ツールの説明会などを実施し、遠隔授業に対応できる環境がない学生に対するPCやWiFiルーター、ヘッドセットなどを無償で貸与しました。4月22日という比較的早い時期に授業を開始することができたのは、ひとえに大学教職員の献身的な努力と学生の協力によるものであり、心からありがたく思っております。その後も、アルバイトができなかった学生などへの奨学金の充実、図書館蔵書の無償送付での貸出し、コンビニエンスストアにおける無料のプリントアウトサービスなど、学生の学習・生活環境の支援策を講じてきております。しかし、感染防止のためにはキャンパスの利用をある程度制限する必要がある、いまだキャンパスに足を踏み入れたことがない一年生も存在します。後期は、実技や実習など、遠隔では十分な学習効果が期待できない科目については一部対面での授業を行う予定ですが、基本として遠隔方式での授業となります。学生の生命・健康を最優先としつつも、可能な限り学生の学習環境を良いものとしてまいります。

厳しい時期ではございますが、引き続きご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。以上、感謝をもってご報告いたします。

在任中の思い出

前学長 秋岡 陽



三月末に学長任期を終え、次の世代の新しい学長に交代しました。年度末は、感染症拡大防止への配慮から卒業礼拝・学位授与式も中止、同窓会の皆さまへのご挨拶もきちんとできませんでした。その後も困難な状況が続く毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

二〇一二年から二期八年間の在任中、同窓会の皆さまには物心両面で一方ならぬお支えをいただきました。非力な私がいざ呼ばれたとされるのかの思いで着任した八年前でしたが、スタートと同時に、同窓会・奨学会・教職員の皆さまの心強いサポートをいただき、不安はすぐに解消されました。皆さまと一緒に大丈夫。フェリスを愛する気持ちが自然に通い合い、力強い支えになる、そういう学校なんです。

この八年は、学院創立一五〇周年に向けた準備がすすめられた時期でもありました。感染症のため、秋に予定されていた記念式典は中止になりましたが、しかし今年が創立一五〇周年であることに変わりありません。歴史の荒波にもまれながら、いつも「信仰・希望・愛」をみすえてきた学院の本当の姿が、

盛大な行事ができなくなった今、かえってはずきり見えてきたようにも思います。

記念式典こそできませんでしたが、記念の年に向けたこの数年、学院の歴史をふりかえり、共に考える機会が与えられたことはよい思い出です。私たちの学校がどういう学校なのか、そこで学ぶことの意味は何なのか共に考えた数年間でした。

キリスト教研究所主催の連続講演会では、フェリスのキリスト教教育について皆さまと考えることができました。感動的な講演に涙したこともありました。大学祭の同窓会サロンでは、さまざまな年代の卒業生お一人お一人の思い出を聞くことができました。また、今秋発行される記念冊子『フェリスのあゆみ』の共同編集執筆作業に在学生と一緒に加われたことも良い思い出です。フェリス生の誇り、アイデンティティはどう形成され、時代を超えて継承されていくのかをまとめた一冊です。ぜひお手にとってご覧ください。

創立一五〇周年に向けた記念事業へのご協力にも感謝申し上げます。大学の記念事業(一次)「CLA棟の整備」もすでに完了。記念事業(二次)「ラーニングコモンズの整備」もほぼ完了。感謝です。なお二次の記念事業の募金は今年の二月いっぱい受付中です。学長任期は終えましたが、これからも皆さまと共に大好きなフェリスを盛り立てていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

150周年記念事業(共通)

「150周年記念館」が誕生しました

かねてご案内してきたとおり、学院では150周年記念事業(共通)として、山手6号館の整備(8号館への大学関係部門集約を含む)を2019年8月～2020年3月に実施しました。

まず、6号館の山手事務室や図書館等を8号館に、個人研究室を4号館に移転することによって、音楽学部各種施設を8号館エリアに集約し、安全管理と機能面での効率化を図りました。

移転後の6号館には、1Fに歴史資料館を新設し、ピロティにはフェリスの歴史を概観できる常設展示エリアを設置しました(一般公開も予定しております)。

また、地階の階段教室(606教室)の椅子・机・換気設備等を更新し、講堂としてリニューアルし、164名を収容できるスペースとなりました。3Fには、教室(セミナー室)3室を大学の授業のために備え、大

学「女性のエンパワメント」事業

や同窓会の各種会合や

サークル等活動にも利

用いただけ

ます。4F



6号館地下1F 606教室

はワンフロア化し、ホワイエと命名して、講演会・研修等(105人収容)やクラス会で立食形式での懇親会も行うことができる空間に生まれ変わりました。卒業生の皆様におかれては、各種催事やクラス会等企画の際に、山手6号館をご利用いただくことも可能ですので、是非ご相談いただければと思います。



6号館4F ホワイエ(丸テーブル)



6号館4F ホワイエ(長机)

(コロナ禍につき、当面の間、見学や利用に制限がございます。歴史資料館は学院資料室、6号館の利用は本部総務課045-662-4511までお問い合わせください。)

歴史資料館(6号館)

創立150周年を記念し、山手6号館は150周年記念館にリニューアルされ、学院資料室は歴史資料館となります。

記念館1階に歴史資料館の展示室と事務室が開設され、事務室には、資料保存スペースと閲覧・執務スペースがあり、更に地下2階には法人本部と共用の大型倉庫が完備されました。この場所は、短大学生ホールから短大図書館書庫となり、その後昨年まで大学図書館山手分室の書庫だったので、利用された同窓生の方も多いのではないのでしょうか。現在は、オーバーホールした電動書架に資料を入れた箱が整然と並び、利用を希望される方の要望に迅速に対応できる体制が整いました。

歴史資料館展示室は、1階ピロティ部分を改修し、全く新しい空間に生まれ変わりました。フェリスの150年の歴史と教育を、学内外の方々に広く公開し知っていただくことを目的としています。まず来場者を迎えるのは、カイパー記念講堂のステンドグラスの写真(中央部分)で、フェリスに関係する人々の根底に流れるよりどころを感じていただきたいと思います。

展示は4つのコーナーに分かれていて、第1展示コーナーから第3展示コーナーはフェリスの歴史を年代順に示し、関連する現物資料を合わせて展示しています。第3展示コーナーは戦後以降現代までがテーマで、同窓生の皆さんは懐かしい写真や資料に出会えると思います。第4展示コーナーは特別展で、定期的に企画展示を行います。開館記念展示は「学院の周年事業」です。150周年記念式典は

残念ながら行えませんが、過去の周年事業を振り返ります。第1展示コーナーの最後には、風車の再現模型があり、実際のよう



歴史資料館

この資料館の最大の見所は2つのジオラマ(地形模型)です。山手・緑園キャンパスそれぞれ精巧に作られていて、地形や校舎が細部までこだわって再現されています。ジオラマの背後には、所蔵している様々な写真をプロジェクターで投影しているので、ぜひ足を止めてご覧ください。その他、校歌を視聴できるパネルや山手校庭のヒマラヤ杉で作った椅子も展示しています。今後は、これまで皆様にご寄贈くださった資料も順次展示していききたいと思います。

同窓生の方々に最初に見ていただきたいのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当分は自由に見学いただけません。人数、時間など制約はありますが、ご希望の方は歴史資料館までお問い合わせください。

8号館に全面移転した 山手キャンパスの昨今について

8号館と6号館の変遷

山手キャンパスでは音楽学部3・4年次及び音楽研究科の授業科目を開講しています。音楽学部は、現代の生活環境の変化やメディアの多様化に伴う音楽ニーズや社会の要請に対応するため、2005年度にカリキュラム改革を行い、さらに2019年度から演奏学科募集停止・音楽芸術学科に改組統合し、新・音楽芸術学科カリキュラムをスタートしました。

一方、施設面では、2012年に8号館が竣工され、同年5号館から音楽学部のメインの校舎機能が移転されました。さらに2019年に6号館にあった個人研究室、教室、演奏会室、図書館分室、事務室の機能を8号館に移転、集約しました。このように音楽学部が6号館から8号館に集約、5号館から8号館にリニューアルされたことにより学生にとって快適で使いやすい環境となりました。

6号館は今年150周年記念館として改修され、1階に歴史資料館を設置しました。各同窓会室を新設、教室を卒業生にも気楽に利用してもらえるよう改修し、将来、卒業生向けのセミナー等の開催を視野に入れ、多くの方にご利用いただける施設を目指しています。

図書館山手分室（8号館）

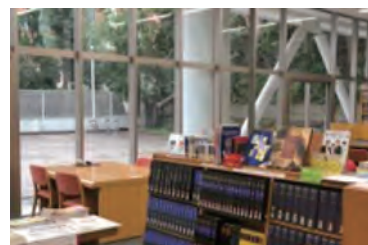
図書館山手分室は音楽関係資料中心の図書館です。

明治初期以降の国内外の讃美歌関係資料等が充実しています。

移転によりこれまで分散していた

書庫や閲覧室をワンフロアに集約し、新たに収容能力の高い電動書架を導入しました。総ガラス張りである、天井の高い閲覧スペースは四季の移ろいが楽しめる心地良い空間です。

（現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用ができません。ご利用いただけるようになりましたら図書館公式サイト <https://www.library.ferris.ac.jp/> で案内いたします。）



演奏会室（8号館）

目下のコロナ禍でコンサート開催を見合わせている現状ですが、例年、「メサイア」、「クリスマスコンサート」、音楽学部教員たちによる「Ferris Concert」、「オーケストラ協演の夕べ」などの数多くの催し物が学内外で実施されてきました。また、同窓生の方は、コンサート入場料の減免がありますので、ぜひご利用ください。また、フェイスブック アカウント名「フェリス女学院大学 音楽学部コンサート」で情報の発信を行っています。

維持協力会のご案内

「フェリス女学院維持協力会」は、1995年に設立された支援組織です。設立以来、同窓会、卒業生の皆さまから多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

維持協力会では、学院創立150周年を迎えるにあたり、150周年記念募金へのご寄付を引き続きお願いしております。募金目標額を3億5000万円に掲げ、2016年6月から2020年8月末現在までに、総額2億8426万円（達成率約81%）のご寄付をいただいております。維持協力会の大学部会へのご寄付金は、大学の150周年記念事業である「ラーニングコモンズ整備事業」に充当させていただきます。昨年度は、ラーニングコモンズの整備を行い、今年度は7号館言語センターを改修予定です。学生の主体的な学修環境の充実のために、一人でも多くの方のご支援をいただければ、大変心強く存じます。

また、150周年記念募金のほか、通常の募金「既存施設設備のための積立て」もお願いしておりますので、あわせてご支援を賜りたくお願い申し上げます。

●ご寄付の方法

原則1口1万円としていますが、金額にかかわらずご厚志をお受けします。専用の振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。ネットバンキング・ATM・クレジットカードによる寄付も受け付けております（※詳細は学院HPをご覧ください）。継続

的ながご支援をご検討の方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度もご利用可能です（引落手数料は学院負担）。

●会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

ご入会后、会員の皆さまには、年に2回、個別の寄付金累計額を記載した「ご寄付明細」及びフェリス女学院広報『ALL FERRIS』をお送りします。また、寄付者芳名録（ご了承いただいた方のみ氏名を掲載）をお寄せお送りいたします。

寄付金総額が25万円に達した方は、終身会員としてご登録させていただきます。終身会員の皆さまには校歌CD、また毎年クリスマスカードをお届けします。

●寄付金控除

維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金となり、優遇措置が受けられます（必要書類は、領収書発送時に同封します）。

※税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「領収証」が必要となります。領収証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。

●お問い合わせ・資料請求先

フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 045-662-4511
E-mail hsoumu@ferris.ac.jp



〈150周年記念〉 写真で綴る短大・大学の歩み



S33年 家政科授業風景



音楽科創設の校舎・旧4号館



2号館へ続く石段



S33年 英文科授業風景



旧4号館 玄関前にて



S33年 英文科タイプライター実習



1977年 寄宿舍生によるキャンドルサービス



1976年冬 寄宿舍



6号館



10号館



大学門



1988年 緑園校舎献堂式次第



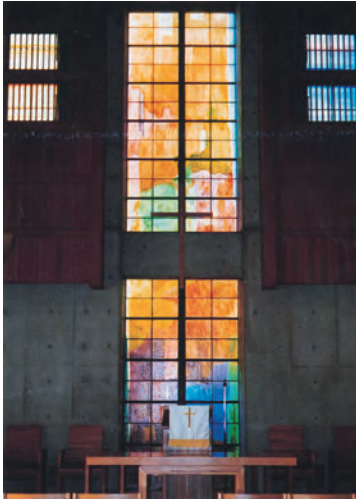
2012年 8号館 音楽学部新校舎



5号館



2号館



戦争のない平和な世界を願う
"アンネのバラ"
緑園キャンパス



フェリス女学院創立130周年記念・音楽学部創立10周年記念
J.S.バッハ作曲《マタイ受難曲》
2000年3月10日(金) 横浜みなとみらい大ホール

2003年2月緑園キャンパスチャペル
正面に設置されたステンドグラス
フェリス女学院短期大学家政科
1996年卒業 大村典子さんの作品

2020 緑園キャンパス



D CLA棟 (全学教養教育棟)



H 図書館



E 学生食堂(アンデレ)

- ① 1号館
- ② チャペル、保健室
- ③ 5号館
- ④ CLA棟
- ⑤ 学生食堂(アンデレ)
- ⑥ 4号館(F Cafe、コンビニ、学生ホール)
- ⑦ キダーホール・緑園
- ⑧ 図書館本館
- ⑨ 7号館
- ⑩ 8号館
- ⑪ 体育館
- ⑫ グラウンド
- ⑬ テニスコート



K 体育館

りてら会員の皆様へ

りてら会員の皆さま、お健やかにお過ごしのことと存じます。いつも同窓会活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今春504名の新会員をお迎えし、りてら総会員数は20995名となりました。

新会員の皆さまとの、これからの同窓会活動や大学のイベントを通したフェリス同窓生としてのお交わりを会員一同心よりお待ちしております。

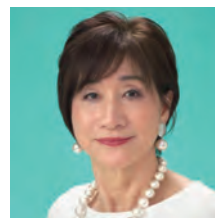
コロナ禍により150周年記念式典・同窓会の諸行事も全て中止となっております現在、同窓会会報150周年記念号をお届けすることが出来たことは、「学院・大学と同窓生との架け橋になる」ことができたのではと思っております。ご執筆にご協力くださいました皆さまに心より御礼申し上げます。

山手6号館「150周年記念館」の2階山手同窓会室は、状況を鑑みながら少しずつ開室準備を進めております。りてらの念願であった「卒業後も生涯教育が受けられる学び場」・「同窓生のつどいの場」として山手同窓会室がご利用いただけることは感謝でございます。皆さまと共に楽しく集える日が一日も早く訪れますことを願っております。同期会やクラス会が開催できるようになりましたらお手伝い

させていただきますのでどうぞお気軽に150周年記念館や新同窓会室をご利用くださいませ。

次年度は役員改選の年となります。りてらは学年幹事会が議決機関ですので、来春の幹事会において推薦委員会ご推薦による新役員のご承認をいただき新体制となります。私は任期満了で退任いたします。長きにわたり至らない会長をお支えくださいました役員・事務局の皆さま、幹事・会員の皆さまには温かいお励ましをいただき感謝申し上げます。私は大学4年制の第1期生として学院100周年の年に入学、今年卒後50年となりました。大学の歩みと共に同窓会とかかわる時を持てましたことを大変嬉しく思っております。フェリスが大好きで、For Othersの精神を心の糧に努めて参りました。ありがとうございました。

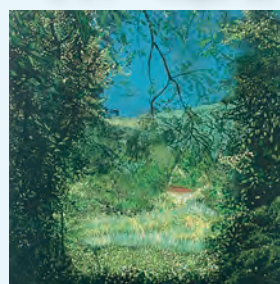
末筆ではございますが、主の豊かな祝福が皆さまのご健康と平安を守られますように、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息をお祈り申し上げます。



会長 小澤 美智子
(1970J)

1969年、4年制大学第1期生として国文科に入学。学院理事。

フェリス・ヨーロッパ・セミナーの思い出



<Another Spot 2020>

150周年を記念して、1968年大学第1回卒業生の石井(旧姓安田)万里子さんに当時の授業や同窓会の様子を伺いました。その中の興味深いエピソードをご紹介します。

観光ではなく国と国とのトランスファーとホテルを設定し、後は自由に各自が行動という基本のみをお願いしました。将来の独自の海外旅行を視野に入れた希望でした。その地に到着してから観光バスは要らない事と、1カ所はユースホステルを設定して欲しいという箇所では旅行会社の主任から猛反対を受けました。安全面、見るべき箇所はあるという観点からでしたが、こちらのわがままを受け入れて頂きました。しかし、募集人員40人を遥かに超え、80人に増加してしまいました。そのため、添乗員も4人となり、ホテルも2カ所、3カ所になってしまい、JTBには大変ご迷惑やご面倒をおかけしてしまいました。

その後、この旅行は2回、3回と続きました。私自身は3回の参加の後、続けるのが難しくなり、参加役員も自費負担という点もあり、引き継ぐ者が無く終了致しました。

同窓会が在校生のために役立つ存在であるべきという思いは、今のりてらにも継承されています。

石井さんは現在、カリフォルニアで「Printmaking Artist」として活躍されています。



<Rings on Water 2019>

1970年、第1回「フェリス・ヨーロッパ・セミナー」を開催しました。コース設定に関しても、バスを連ねての

コロナ禍に考える

今年度より副学長を拝命しました。新学長による新しいフェリスを支えるべく努力して参ります。COVID-19蔓延の中での船出となりましたが、関係者の努力と学生・保証人の皆様のご理解ご協力のおかげで、大きな混乱もなく進めていることを、この場を借りて報告いたします。

フェリス女学院大学では2007年度から「アメリカ史」を教えています。過去をつかって現在を理解し、未来を構想する「歴史する」思考を大切にしています。今回のコロナ禍は、あらためて疫病と社会の関係を考える機会となりました。歴史上、人類はいつも疫病に怯えてきました。近代以降は科学技術によってこれに立ち向かいましたが、今また、見えない自然の脅威にさらされています。

コロンブス以後のアメリカも例外ではありません。ヨーロッパ人は天然痘や麻疹など、先住民が免疫を持たない病気を持ち込みました。これにより南北アメリカの人口は激減します。19世紀終わりになってようやく、感染症が細菌やウイルスで広まることになりました。当時海外進出を開始したアメリカは、世界に自国文明を広げることを使命としましたが、そこには衛生観念が含まれました。ペアーズは石鹸での手洗いを教えることを「白人の責務」として宣伝しました。第一次世界大戦中には「スペイン風邪」によって、世界で

4千万～5千万人の命が失われました。最初の流行はアメリカでしたが、当時中立国であったスペインでの蔓延が報道されたことで、現在でもこう呼ばれます。1960年代には風疹が猛威を振るい、風疹障害児が増えました。このことは、女性の権利としての人工妊娠中絶の合憲化をめぐる議論を加速しました。1980年代のエイズ禍では同性愛者に罹患者が多かったことで、彼らに対する社会的偏見が高まりました。そして2020年、アメリカもコロナ禍にあります。アジア系へのヘイトや、罹患者の人種的偏りが見られるなど、社会がはらむ様々な問題が浮かび上がっています。

全学教育担当副学長はCLA全学教養教育機構長を兼ねます。深い専門知識と幅広い見識をもって正しく批判的に思考する習慣を伝えていきたいと考えています。アメリカをみるまでもなく、私たちは、自らが生きるこの社会の問題に直面しています。今を理解し、将来へとつなげるために。4年間、どうぞよろしくお願い致します。

[参考]石弘之『感染症の世界史』(角川ソフィア文庫、2018年)



フェリス女学院大学副学長
梅崎 透 先生

文学部英語英米文学科教授。
専門はアメリカ史・歴史学

りてら2019年度決算報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

●収入の部(円)

科 目	決 算
終りてら募金	16,110,000
預金利息	602,000
預金収入	2,486
収入小計	16,714,486
前年度繰越金	35,475,774
収 支 合 計	52,190,260

●支出の部(円)

科 目	決 算
総会費	1,234,058
会報費	2,422,892
クリスマスカード	1,133,257
企画費	53,240
会費	302,205
卒業・入学関連費	926,431
学祭費	15,900
大寄	0
就職課支援金	220,000
交際費	0
件費	70,000
人件費	1,133,175
交通費	156,280
システム関連費	222,592
リース費	775,022
印刷費	64,800
事務消耗品費	83,278
手帳費	104,910
備品費	9,356
雑費	0
雑費	14,650
予備費	418,770
支出合計	9,360,816
次年度繰越金	42,829,444
合 計	52,190,260

義なひと時でした。部、の荒井真教授による講演会を開催いたしました。「法律家は、悪しきキリスト者」をテーマに、ヨーロッパにおける法学の歴史や法律家評価の変遷など興味深い講演内容でした。また今年度より学長に就任され、大学の今後のビジョンなどについても聞き取ることができ、大変有意義なひと時でした。



昨年10月26日の幹事会では、国際交流学部の荒井真教授による講演会を開催いたしました。「法律家は、悪しきキリスト者」をテーマに、ヨーロッパにおける法学の歴史や法律家評価の変遷など興味深い講演内容でした。また今年度より学長に就任され、大学の今後のビジョンなどについても聞き取ることができ、大変有意義なひと時でした。

講演会報告

りてらの運営は、学年幹事会の決議を基になされています。今年度の幹事会は残念ながら第一回、第二回ともに書面議決となりましたが、コロナ禍に対する学生支援への寄付については多くのご賛同をいただきました。各学科を代表する二名の学年幹事さんには今後もより一層のご協力をお願いいたします。

幹事会報告



<山手キャンパス6号館150周年記念館>

山手の丘に、新りてら同窓会室がオープンします！山手キャンパス6号館「150周年記念館」2階、96㎡の広さを持つ明るいお部屋です。りてら本部機能を全面移転し、各種会議をゆったりと開催できると共に、サークル活動などにもご活用いただけます。また、記念館4階ホワイエや各階のお部屋などをお借りして、催し物やセミナーの開催も可能となります。開室準備が整いましたら、お知らせいたしますのでぜひお立ち寄りください。

新同窓会室OPEN

同窓生だより

ことばとわたし

私は現在、フェリス女学院大学非常勤講師として学部生に「言語学」を教えています。そのかわり、コーチとして会社経営者や会社員、主婦など様々な立場・年齢の方と関わらせて頂いています。コーチングを簡単に言うと、本人特有の感情や思考のはたらしめを行動の力に変えることで目標達成や自己実現を促す、コミュニケーション技術です。感情や思考というのは、「言葉」と密接に関わっています。ですので、コーチングも「言葉」「言葉を紡ぎ出す人」が大好きな私にとって、学びが多く楽しい時間です。

私は小さいころから、「言葉」が大好きでした。そんな私は、いつの日からか漠然と、国語教師か日本語教師になりたいと思っていました。そして、日本語教員養成講座のある大学を探している時に出会ったのがフェリス女学院大学でした。東京の一番端から緑園都市まで、片道二時間ほどかけて通いました。

恩師の齋藤孝滋先生に大学三年生の時に出会い、言葉の奥深さ・多様性をより知れ、ゼミの時間は毎回とても楽しかったです。特に、ゼミ旅行で行った北海道。ゼミ生みんな

方言調査をしてみようと、一般の方にご協力いただき、質問に答えて頂いたり、発音を録音させて頂いたりしました。その時に、発音の分析を担当したことにより、音響分析に興味を持ち、日本語教育の音声学の方へ進むきっかけにもなりました。その時、その時、興味を持ったことを実際にやってみると、自分でも気付いていなかった自分の特性も知れ、自分の幅が広がるものだなあと感じたことを思い出します。

大学卒業後は、一度、会社員も経験しましたが、三年後に退職し大学院での研究を再開しました。大学院修了後は、国語教師や日本語教師として、様々な教育機関で働きましました。そして、同じころ、コーチングにも出会いました。

昨年、法人化した会社名は「株式会社ことば研究室」。言葉が好き、その言葉を紡ぎ出す人間が好き。この事は、これまでもこれからも変わらないと思います。この、言葉が好きという事を、大きく育ててくれたフェリス女学院大学での四年間があるから、今の私がいます。



松崎祐子さん
(2001J)

フェリス女学院大学非常勤講師。株式会社ことば研究室代表取締役。

小さな旅 中華街と工場夜景クルーズ

10月5日、今回の小さな旅くらは初の土曜日の開催となり、総勢40名が集まりました。

まずは中華街の招福門で早目の夕食。懐かしい顔ぶれも、初めてお目にかかる先輩後輩も、おいしい食事を囲んで、あつという間に打ち解けるのが「りてら」の素敵なところ。食後はおしゃべり続けながら、港へ移動。氷川丸の隣から貸し切りの船に乗り、夜景クルーズの始まりです。元気のいいガイドさんの話を聞きながら、なかなかのスピードで船は運河を進みます。ライトアップされた工場は独特の光景で、時おり煙突から炎をあげます。クルーズの終りにはみなとみらいを海から眺め、その美しさに歓声とシャッター音が響きました。楽しい時間が過ぎるのはあつという間。船から降り、笑顔で挨拶を交わしながら家路に着きました。

◆今年度の企画は残念ながら未定ですが、これから「小さな旅」をどうぞお楽しみに！◆「旅くらは」は登録制です。ご登録後、ご案内状をお送りいたしますのでお気軽に同窓会室までお問い合わせください。



同窓会室より

【役員紹介】

会長	小澤 美智子	1970J
副会長	増田 紀子	1983E
	山縣 幸子	1984J
会計	島村 直美	1984J
	井上 直子	1995S
書記	貴田 里砂	1987E

【サポーター募集】

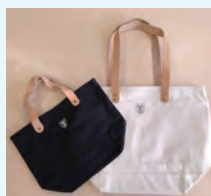
りてらでは、活動をお手伝いいただける方を募集しております。アドレス登録制で、ご都合に合わせてご参加いただけます。お気軽にお問い合わせください。



<2018年 大学祭グッズ販売のようす>

【イベント参加】

大学のイベント・式典などでオリジナルグッズの販売を行っております。昨年の学祭では、新作トートバックなどご好評をいただきました。今年は式典関係や大学祭が中止となり残念ですが、またいつの日か大学にお越しの際は、ピンクの〈のぼり〉を目印に、りてらショップへ是非お立ち寄りください。





フェリスと私 4



＜緑園キャンパスチャペル・カリヨン＞

一九九二年四月一日、フェリス女学院大学文学部国文学科に着任しました。大学は山手と緑園の二つのキャンパスに分かれ、二〇〇一年に緑園に文学部棟が完成して文学部全体が緑園に引っ越すまで、私の研究室は山手にあり、専門科目は山手で、一般教養科目は緑園で展開されていて、学バスで二つのキャンパスを往復する日々を送っていました。着任して一年目の私に与えられたのは学生委員で、最初の仕事は新入生学外オリエンテーションでした。当時は一泊二日の日程で、大磯プリンスホテルで行われていました。大磯プリンスホテルは大磯ロングビーチで有名な夏のリゾートホテルで、シーズンオフの桜と新緑の美しい季節に、新入生、上級生リーダー、全ての専任教員、そして職員とが、寝食を共にしながら過ごすというものでした。当時から、フェリスでは全ての公式の行事が教職員のサポートを受けながら、学生が主体となって行われていて、入学式・学位授与式の司会や運営にまで学生が関わっていて、この新入生学外オリエンテーションも学生が中心となってプログラムを組み立てる所から参加していました。学生委員として前日から泊りがけで学生がリハーサルを行うのに付き添い、入念な打ち合わせをしている彼女たち

姿を見て、本当に頼もしく思ったことを、今でも鮮明に覚えています。タフで、優しく、伸びやかで、自分の頭で考えて行動することのできる自立した女性の姿がそこにありました。これこそ、今から一五〇年前にヘボン診療所で授業を始めたメアリー・E・キダー先生が目指した女子教育が具現化したものであり、彼女たちが生きた伝統そのものであることを確信し、フェリス女学院大学に働く機会を与えられたことを神様に心から感謝した次第です。

着任の翌年・一九九三年には学科名が国文学科から日本文学科に変更になりました。学部の教育の内実にも一つの大きな変化をもたらしたように思います。国文学というのは、辞書を引きますと確かに日本では日本文学を指しますが、自国の文学という意味でいえば、現在、世界には日本を含めて一九六か国あり、それは一九六の国文学があるという意味になります。世界の中の日本文学を学ぶという意味からすれば、日本文学科というのがより客観的な名称です。二〇一四年には、さらに日本語日本文学科と名称を変更しましたが、フェリス創立の歴史を振り返ってみても、フェリスで学ぶことは、常に「世界」を視野に入れることであり、国際的感覚を日常の中に感知できることが、フェリスにおいては当然のことであり、「標準装備」だと思います。「英語・語学」や「国際化」は自明のこととして存在するフェリスにおいて、日本語日本文学科が担う役割は、国際社会・文化との関わりの中で、「日本語」による確かな表現能力を培いつつ、多角的総合的な視点から日本と自身とを見つめ、世界に羽ばたくことのできる自立した女性を育成することにあると考えています。日本



日本語日本文学科教授
佐藤 裕子 先生

専門は、夏目漱石を中心とする日本近現代文学。

語日本文学科では、英語や語学、パソコンなどのITの技術は、学科の専門科目にダイレクトに結びつくものではない代わり、日本文の学生にとっては自らの学びを深めるためのツールとして存在していることを実感します。日文には、交換留学生だけではなく、私費留学生も多く、四年間、あるいは大学院の五年間をフェリスで過ごし、それぞれの母国に戻って活躍している学生たちも多く存在します。私のゼミを巣立った留学生たちは、アメリカ、中国、韓国、台湾、フィリピン、スペイン、ドイツなど、世界中で活躍しています。定年後はゼミの教え子たちの元を回る世界一周の旅がしたいものだと思っています。また、この二十八年間で、一都六県に限っても中学、あるいは高校教員をやっているゼミの教え子たちも、どんどん増えています。今年は、埼玉県教員採用試験の一次試験に合格して、お盆休み明けに予定されている二次試験の準備勉強をしている四年生がいます。今では、教育実習先には、必ずといっていい程、フェリスの卒業生が専任・常勤・非常勤の教員として働いていて、訪問指導の一つの楽しみにもなっています。着任から今日までの二十八年間、優秀な学生に恵まれたことをしみじみと感じます。定年までの残りの時間を、キダー先生の遺志を受け継ぎつつ、研究と教育に邁進していきたいと考えています。

【お知らせ】

◆事務局員募集

同窓会室では、有給にて事務局員を募集しております。週1～2日勤務、時給・交通費支給いたします。詳細は公式サイトをご確認ください。

◆登録情報変更について

ご住所の変更、ご永眠者のお届けは、FAX又はメールにて同窓会室までご連絡ください。

前号でカフェテラス・フェリス閉室のお知らせをいたしました。その運営はりてらではなく同窓生の有志によるものでした。改めて、有志の方々による16年間の運営に感謝申し上げます。

コロナ禍によりキャンパス入構制限が出ている為、現在同窓会室は閉室しております。ご連絡はメールにてお願いいたします。

開室：毎週火曜日・木曜日 10時～16時
(大学の春・夏・冬期休暇中は閉室)

住所：〒245-8650

横浜市泉区緑園4-5-3 フェリス女学院大学内

TEL：045-812-8692

FAX：045-814-8966

URL：https://littera.gr.jp Email：info@littera.gr.jp

◆住所変更やグッズ購入、旅くらぶへのお申し込みやサポーター登録には公式サイトの利用が便利です。QRコードよりアクセス下さい。



りべるて

Vol.32
家政科同窓会

りべるての皆様

会長 金子 和恵



りべるての会員の皆様、いつもりべるての活動にご理解ご協力をいただきまして、ありがとうございます。今年も会報をお届けできますことは、寄稿ならびに編集にご尽力くださいました皆様のおかげと、深く感謝申し上げます。

昨年末より流行し始めた新型コロナウイルス感染症は世界中に蔓延し、現在も収束の見通しが立っておりません。大学では入構制限がかかり家政科記念館に集まることもできず、りべるてすべての活動ができなくなりました。1年間の総括である総会も中止し、書面表決といたしました。その結果は、別記のとおり多数の皆様よりご承認をいただくことができました。厚く御礼申し上げます。

その後もコロナ禍は収まらず、不安な日々を過ごしております。このため、9月以降も、クリスマス礼拝まではすべての行事を中止することとなりました。来年の行事予定は、クリスマスカードにてお知らせいたします。

本年はフェリス女学院創立150周年です。学院に連なる皆様とともに記念式典を楽しみにしておりましたが、中止となりました。とても残念ですが、会員の皆様方とともにお祝いしたいと存じます。

150周年の記念事業の一つとして、同窓生の集つことのでき

るホール、りてら及びFグループの同窓会室の整備などを学院が行ってくださいました。今後、皆様との集まりで活用できると思っていますので、どうぞ期待ください。

2019年度は、例年通り各種教室を開催し、多くの会員の皆様にお楽しみいただきました。「やっと参加できるようになりました」と言ってお初めて参加してくださった方もいらっしゃいます。今後、開催できるようになりましたら、どうぞ奮ってご参加ください。悲しいお知らせです。友井ゆり子短大名誉教授が2020年2月20日、ご逝去されました。享年99歳でした。家政科が閉じられてから30年にわたり、毎月1回、同窓会の役員会にお越し下さり、りべるてを温かくお導きくださいました。

先生は、バザーの喫茶コーナーで卒業生とお話になることを毎年の楽しみにされていました。会監をされていた縁から、寄宿舎にいらした方々が年に一回、バザーに合わせて集い、友井先生と談笑される光景が目に見えます。学生時代は2年間と短い間でしたが、その後、同窓会で30年も一緒に過ごしていただき、本当に幸せでした。去る2月26日、四谷新教会で最後のお別れをさせていただいた時、これらが走馬灯のように駆け巡りました。長い間温かいご厚誼をありがとうございました。心から感謝申し上げます。

さて、32年目を迎えた同窓会の活動では、大学と会員の皆様をいかにつなげられるかを考えております。会報には、学院理事長、学院長、学長のお三方のお話が載っております。フェリスの今そしてこれからをお読みいただき、150年の伝統を後輩に引き継ぐべく、150周年記念募金への皆様の温かいご協力を改めましてお願い申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を願うとともに、皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

書面表決

6月13日に予定しておりました総会は、新型コロナウイルス禍により皆様の安全と健康を最優先と考え中止いたしました。会則第9章28条(1)を適用し、発送数4291通返送数1014通(8月20日現在)で20%以上の主席者を以って成立いたしました。結果につきましては別表をご覧ください。

第1号議案は2019年度事業報告です。毎月の役員会と各種教室の運営、家政科記念館の開館と大学同窓会会報の幹事として活動致しました。

第2号議案は運営費報告です。現在りべるての活動費は学院に予算請求をし、運営しております。

第3号議案はりべるての財産の決算報告です。支出の寄付金は何ですか?との質問がありましたが、学院創立150周年記念募金にご協力させていただいたものです。

第4号議案は、2020年度事業計画

案です。承認されましたので事業は行なう予定でしたが、新型コロナウイルスの終息が見えない状況で予定された事業は年内は全て中止いたします。来年以降はクリスマスカードにてお知らせいたします。

第5号議案は2020年度予算案です。承認されましたので予算といたします。

第6号議案はりべるて奨学金についてです。お知らせしました通り2020年に総額500万円の原資となりますので、従来通り学生課に運用をお任せいたします。

今後、現状を学院・大学とご相談させていただきながら活動して参りますので、会員皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

議案	承認	否認	表記なし	計
第1号議案	1013	0	1	1014
第2号議案	1011	0	3	1014
第3号議案	1011	1	2	1014
第4号議案	1013	0	1	1014
第5号議案	1011	1	2	1014
第6号議案	1013	0	1	1014

奨学金贈呈

9月2日、りべるて奨学金を大学に贈呈いたしました。

2011年に創設いたしました「りべるて奨学金」は10年を迎えました。

この間、前途有為な学生が経済的理由により勉学を諦めることのない様に支援を続けて参りました。

2020年3月31日現在、累計20名に奨学金を貸与し、9名が返還を完了しております。本年度で総額500万円となることから、りべるて会員の承認を得まして原資の提供を終了いたします。今後は今迄通り、運用を大学にお願いして参ります。

これからの時代の変化により生じる数々の問題の中で、少しでも後輩のお役に立てますように願っております。

友井ゆり子先生を偲んで

友井ゆり子先生のご逝去の報に接し心から哀悼の意を表します。

一昨年、ご自宅へお電話させていただいた折は、しっかりと元気なお声を聞かせていただきました。とてもお元気でしたので安心していました。

ご召天の報に大きな驚きと深い悲しみと寂しさを感じています。

先生は、私にとって恩師であり人生の師であり、優しさを持った母親のような存在でした。学生時代、そして卒業後友井先生の研究室で、先生の助手としてお仕事をさせていただいた頃の思い出が走馬灯の如く思い出されます。

一九七二年頃、まだ男女雇用機会均等法が施行される以前に友井先生は「これからの女性の幸せな生き方」「男女差別問題にどう対処するか」「女性が自分の能力を発揮出来る生き方」と先生のお言葉が私に新しい意識を吹き込んで下さいました。私が仕事をしていた時代は、フェリスでも結婚したら退職して家庭に入るのが自然でした。しかし友井先生は「結婚しても仕事を続けるのは当然の事」と仰っていました。

あれから約五十年が経ち、友井先生の描いていた理想の社



会、男性も家庭と育児に参加し、女性も仕事を持つ、男女共同参画社会が実現されました。

先生のご趣味は、スポーツとクラシック音楽の鑑賞で、特にテニスのプレーと観戦が大好きでした。プライベートでは、先生と一緒にテニスのプレーを楽しみました。私とは、親子ほどの歳の差がありますが、何時でも先生がリードしていました。また、高校野球もお好きでした。後に私の教え子である横浜高校の松坂大輔投手のサイン入りボールをプレゼントした折には、ご家族や周りの方々に自慢して、女学生時代に戻られた可愛い乙女のようにでした。何時も凛としたイメージの先生ですが、ご趣味の事になりますと好奇心に溢れ、とてもチャイミングなお姿でいらしたことが懐かしく思い出されます。

先生には、専門分野だけではなく、多くの教養も学ばせていただき感謝しております。友井先生は、フェリスを退職してから、フェリスの大学の聴講生になり、フランスのゴールドンブルー留学時代からのフランス語を八十歳代になっても生涯学習されていました。

先生の一生涯学ぶ姿勢は、私の人生の指針になり、深い尊敬の念を抱いています。友井先生は真摯なお人柄と優れた先見の明を持ち、日々の努力と多くの教えを賜わり深く感謝申し上げます。

どうぞ天国で安らかに憩われますようお祈り申し上げます。

(D 47 原田恵子)

りべるてと友井先生

友井先生は30年に渡り、毎月役員会にご出席下さいました。学生時代は凛としてどこか近寄り難い雰囲気をお持ちでいらつしやいました。役員もそのイメージを持つておりましたので、先生と親しくお話をする感じではありませんでした。しかし、役員が休憩中にする話に友井先生はとても関心を持たれていました。それはどう言う事なの?と近くの役員に小声でお聞きになります。『こんな話です』とお答えすると『まあ、そう言う事!!』と驚かれるのです。私達が話す世間話が実は先生には新鮮でいらしたので

80才を過ぎて、緑園のオープンキャンパスでフランス語や、聖書の講座を受講されていらつしやいました。りべるてのお料理教室では、新しいレシピを教えてくださいました。当日あまり召し上がりず心配した役員が『体調がすぐれませんか?』と伺いますと、『もう何回も作って食べたので』と仰り、研究熱心な先生のお姿が垣間見えたエピソードです。教えるときは厳しく、適当に材料の計量をしていると、『私はその様に教えておりません』とキツパリ仰りその時ばかりは学生時代に戻った様でした。

ここ数年はお出掛けになる事はありませんでしたが、ご自宅に伺うとりべるてや学校のお話を楽しそうに聞いて下さいました。

友井先生、私達にたくさんの思い出をありがとうございました。心より感謝とお礼を申し上げます。



2006.6.8 りべるて料理教室

I <ビーフストロガノフ> beef stroganov, stroganoff 6人分

牛フィレ 500~750g 厚さ2cm程の1口大切り たまねぎ 1個 (パプリカ 小匙1/2) 塩 小匙1 こしょう 少々 バター 大匙2	ブイオン (牛スープの素 1個 水 cup2 生クリーム cup1/2 トマトピューレ cup1/2 レモン汁 小匙2 塩 小匙2 こしょう
<ソース> (小麦粉 大匙2 1/2 バター 大匙2	つけ合わせ バターライス

- (1) 牛肉は一口大、又は小指大に切りそろえる。たまねぎは縦の薄切り。ポウルに牛肉、たまねぎを入れ、パプリカ、塩、こしょうを振り、手でもみ、15分程そのまま置き味をなじませておく。
- (2) ソースを作る。厚手の鍋にバターを弱火でとかし、小麦粉を入れて5~6分炒めてルーを作り、程よいところで、ルーにブイオンを少しずつ加えてとぎのばす。
- (3) (2)に生クリーム、レモン汁、トマトピューレを加えて20分位煮る。
- (4) フライパンにバターを溶かし、(1)の肉とたまねぎを入れ、返しながら強火で炒めて焼色をつけ、(3)のソースに加える。
- (5) 5分程煮て、塩、こしょうで味をととのえる。肉をソースに入れてからは煮過ぎないように注意。



大村典子先生の ステンドグラス教室

同級の友人に誘われて、2019年9月25日(水)ステンドグラス教室に参加させて頂きました。

全くの初心者なので不安でしたが、一度は自分で作ってみたいと思っていましたのでとても楽しみにして向かいました。



机につくと、来年の干支「ねずみ」の図案のステンドグラスが初心者でも時間内に完成できる

ようセットされていました。それから、先生方の丁寧な指導の下、銅線貼り、ハンダ付け、仕上げへと進めていきましたが、要のハンダ付けは難しく、溶けた鉛が生き物のように動き回り、球になって落ちて転がり、手に余り、完成が見えませんでした。先生に助けを求め、あつという間に修復して頂くのを見ながら少しずつコツがわかってきました。不器用なりに頑張る、ハンダ付けに苦勞し、先生に仕上げを助けて頂き、最後に洗って磨くと、光を通してキラキラと輝く素敵な作品が出来上がっていました。

40年振りの母校、初秋の美しい横浜山手界限、楽しい作品作り、そしてタイミング良く開催されていた元町チャミンダセールと、とても穏やかで楽しい一日

を過ごさせて頂きました。

ガラスのカット、セッティング、道具の準備と大変な努力をお掛けした先生方と役員の皆さまにはお世話になりました。本当に有難うございました。

(D 54 前川京子)

2020年1月22日(水)、山手寮で出会って35年来の大切な友人達と、人気の「ステンドグラス教室」に初参加させて頂きました。

来年の干支、丑のオシャレなデザインプレートを作りました。綺麗な色のパズルのようなパーツは手に取ると案外重く、恐る恐る作業を始めました。事前に整えて頂いたガラスのピースをハンダ付けしていくのですが、手慣れたご様子の皆様に驚き、気後れしながら取りかかると「初めてですか？お上手ですよ」と先生が優しく声をかけて下さいました。勇気を頂き、段々溶かしたハンダでガラスを繋いでいくのが楽しくなり、結果ふたつとない大満足の作品が出来上がりました。



今まで海外駐在や子供の学校関連の仕事の中で中々自分の時間を作れなかった私でしたが、子育て終了？を機に、当時家政科で学んだ「ものづくりの楽しさ」を実感でき、充実した一日となりました。

先生方のご指導に、そしてこのような機会を設けて下さった同窓会役員の皆様のおかげで素晴らしい活動に心から感謝致します。できれば来年も、変わらぬ華やかさとパワーを持つこの友人達とまた温かみのある作品を作りたいと願っております。

(D 62 森山恭子)

大森いく子先生の お菓子教室

2019年11月14日(木)、大森いく子先生のお菓子教室が開催されました。

ラ・フランスの焼きカスタードクリームでした。カスタードクリームを耐熱器に入れて、バター、砂糖で炒めた洋梨をのせて焼いて、美味しそうな焦げ色がつ

いたら出来あがり！大小の葉形のパイを添えていただきました。焼きたて熱々の洋梨がとても美味かったです。材料はすべて計量して用意して下さっていました。私は初めての参加でしたが、皆様と過ごして楽しく過ごす事が出来ました。(D 51 野村育子)



Recipe ラ・フランスの焼きカスタードクリーム

Inaredient

洋梨(ラ・フランス)大	1個	A グラニュー糖	大さじ2
バニラビーンズ	1/4本	無塩バター	10g
薄力粉	6g(小さじ2)	ラム酒	小さじ1
コーンスターチ	10g(小さじ4)	レモン果汁	小さじ1/2
グラニュー糖	50g		
牛乳	100ml	パイ生地	10cm×10cm 4枚
生クリーム	100ml	18cmタルト型又は、耐熱器4皿分	
卵黄	2個		

- 1 冷凍パイシートを半解凍して、葉形のクッキー型で抜く。又はナイフで葉の形に切り抜き、溶き卵を表面に塗り、ナイフで葉脈の線を引く。⇒200度のオーブンで、20分焼いておく。
- 2 ボウルに薄力粉、コーンスターチ、グラニュー糖を入れる。牛乳を少しずつ加えながら、泡立て器でダマにならないように混ぜ合わせる。生クリームを加えて、混ぜ合わせる。
- 3 片手鍋に移し、中火にかける。耐熱ゴムベラで混ぜながら、とろみが付き始めたら、弱火で2分程かき混ぜながら、火を通す。
- 4 火から下ろし、粗熱を取ったら、卵黄を一個ずつ加えて手早く混ぜる。
- 5 バターを薄く塗った耐熱器に4等分ずつ(約60g)平らに流す。

(洋梨)

- 6 洋梨は12等分のくし切りにする。
- 7 フライパンにグラニュー糖大さじ2、バターを入れて、中火にかける。砂糖が溶けてクリームキャメル状になったら、洋梨を入れて、炒める。7〜8分炒め、レモン果汁、ラム酒を加える。
- 8 7の洋梨を手早くクリームの上に3切れずつのせる。
- 9 230度の高温のオーブンで7、8分程焼き、充分生地がふくらんだら、200度に下げて、10分焼く。オーブンによって、焼き時間は若干変わる。目安は、クリーム生地がよく膨らんで、美味しそうな焦げ色がついたらOK。
- 10 皿の上に焼き立ての器をのせ、大小の葉のパイを2枚添える。

POINT これからの季節には、焼き立ての熱々がおすすです！

矢吹恵子先生の 北欧絵織物教室

2020年2月12日(水)、矢吹恵子先生の北欧絵織物教室を開催いたしました。初参加の方を含めて10名が出席されました。今回は刺繍のテクニクをふんだんに盛り込んだ赤と緑の小物入れの蓋を教えていただきました。刺繍は久しぶりの方も多く、矢吹先生に手ほどきを受けながら一生懸命作りました。先生のデザインは色も素敵ですが、使用するノルウェーの糸に表情があり、出来上がった作品は本当に温かくいつまでも手元に置いておきたいくなります。



〈友井先生を偲ぶ会 中止のお知らせ〉

標記偲ぶ会を来る11月12日に予定しておりましたが、多くの方からご参加の申し込みをいただきましたが、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないため中止いたします。

ステンドグラス教室 中止
北欧絵織物教室 中止

今後の予定

2021年2月10日(水)10時半より
小倉志保子先生
ビーズ教室

2021年3月4日(木)10時半より
大森いく子先生
お菓子教室

■2020年度予算

科目	金額 (円)
消耗品費 (事務用) (その他)	120,000 10,000 110,000
旅費・交通費	410,000
通信・運搬費 (郵便料金) (宅急便)	940,000 930,000 10,000
印刷・製本費	800,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	100,000
渉外費	100,000
雑費	90,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合 計	2,662,000

会長

会計

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。
2020年6月3日

監査

■2019年度決算報告書 (2019年4月1日～2020年3月31日)

科目	金額 (円)
収入	
受取利息 業付金 他計	10 52,250 117,200 0 169,460
前年度繰越金	4,540,680
合 計	4,710,140
支出	
奨学金 金付 際業 費計	500,000 500,000 0 250 1,000,250
次年度繰越金	3,709,890
合 計	4,710,140
繰金明細	
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	3,027,000
通常貯金(同上)	300,472
普通預金(横浜銀行)	382,418
合 計	3,709,890

■2019年度運営報告書 (2019年4月1日～2020年3月31日)

科目	金額 (円)
収入	
奨学金 金付 際業 費計	2,692,750
合 計	2,692,750
支出	
消耗品費 交通費 通信・運搬費 印刷・製本費 報酬 会議費 渉外費 雑費 修繕費 事業費 寄付金	4,211 333,370 985,585 991,796 3,190 162,658 70,000 35,150 106,790 0 0 0
合 計	2,692,750
収入-支出	0

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、りべるて宛お知らせください。
TEL・FAX 045-662-0750(第一木曜日は閉館)

D41同期会より1万円のご寄付をいただきました。感謝をもってご報告いたします。

Fグループの皆さま

会長 小林 周子(29回)



会員の皆様、いつもFグループの活動にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で私たちの生活は思いもよらない状態に陥ってまいりました。大学での前期授業はすべて遠隔授業となり、Fグループにおきましては

今年度の幹事会は書面での開催、また総会は中止となりました。2020年はフェリス女学院にとって記念すべき150周年をお祝いする年でありましたが学院主催の記念式典も中止になり、それに伴いFグループ主催の募金コンサート、去年立ち上げましたリユニオンレッスン、また山手の丘発表会も残念ながら中止にいたしました。出演を予定されていた皆様には大変申し訳なく思っております。新しい生活様式の中で私たちが学び大切にしている音楽は大変厳しい立場にたっておりますが、音楽の

持つ力を信じ音楽と共に歩んでまいりたいと思う今日この頃です。そして長い年月の中の数年ではありませんが、歴史を繋いでいった紛れもない一員として、心より母校の150周年をお祝いしたいと思えます。記念事業の一環として整備されつつある同窓会室は、影響により工期が遅れている様子ですが、学院のご配慮に感謝しつつ、様々な企画で使用させていただくことを楽しみにしております。

最後にりましたが、皆様のご健勝を祈るとともにかわらぬご支援をお願いいたします。

～Fグループ ご寄付のお願い～

近年非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。一口2,000円からお受けいたしております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〈振込先〉ゆうちょ銀行
00280-3-75184
〈加入者名〉Fグループ

通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。

耳を傾けるということ

音楽学部長 堀 由紀子



います。常に自由を希求しつつも苦勞の中にさえも楽しみを見つけてしまうという見紛うことなき真性の音楽民族の皆さんは、春以降の不便な生活の中でもきつと各々工夫され、実りある時間を編み出して来られたことと思います。

とに新たな経験として積み重なるので、一度たりとも同じ聴き方をする事はないでしょう。音楽を聴くという時、「聞」ではなく「聴」の字を使うことが多いですが、この聴の字の成り立ちを調べてみると、旧字体は「聽」で、このつくりの「惠」(元々は「聽」には、「まつすぐ立てる、高みにのぼる」という意味があるそうです。「徳」の字と同じつくりを持つのです。徳の場合は「イ」(道)を、聴は「耳」を、まつすぐに立てて、高みをめざすということになるでしょうか。因みにベートーヴェンは、徳を持つことが人として何より大切なことだと考えていたようです。

皆さんご無事でお過ごしでしょうか。この時代に自由に外出できない事態が起こるなんて、想像もできなかったですね。でも音楽と親しむ術を心得ている皆さんにとっては、家仕事は得意な分野(とは言っても、自分の意志と半ば強制とは全く違

さて、音楽を聴くとき、私たちはいつか「何を」聴いているのでしょうか?何を聴きとるかは、人により、またその日の気分によっても違うし、曲によっても違いますよね。また、同じ曲を聴いても一回ご

生の演奏に接する時は、耳に頼るだけでなく、目で演奏者のしぐさや表情を見ることができると、全身の肌で音やリズムの波動を感じたり、野山や田んぼなど自然の匂いの記憶を喚起されたり、甘さやほろ苦さのような感覚が蘇るということもあるでしょう。音楽は、私たちの身体のあるあらゆる器官を通して直に訴えかけてきます。私たちが心を開いてまっすぐに聴くことが、これら全ての感応につながるっていいですね。考えてみるとすごいことです。1日も早く、コンサートの熱気を存分に共有できる幸せな日常が戻りますように!

ジョイントコンサート

19年10月26日(土) フェリスホール

コンサート当日はさわやかな秋晴れに恵まれ、147名のお客様にお運び頂きました。10名の同窓生が出演し、それぞれ素晴らしい演奏を披露してくださいました。特に今回は、フェリスホールにある石井記念オルガンが建造30周年を迎えた記念の年にあたり、オルガンの魅力を存分に引き出すプログラムが組まれ、会場で荘厳な響きに包まれました。

今年度の開催は中止となりました。一刻も早く事態が収束し再び皆様に音楽をお届けできる日が来ることを心より願っております。

担当 小清水桃子(55回)



【19年度出演者】

- ★桐藤友妃子(43回Pf)・稲熊佐江子(Pf)
- ★岩本夏菜子(52回Pf)
- ★森佐知子(29回Vo)・小林周子(29回Pf)
- ★宮崎美咲(57回Vo)・齊藤亜里紗(57回Vo)
- ★中川葉音(57回Org)
- ★菊地理恵(63回Vn)・小清水桃子(55回Org)
- ★佐藤礼子(45回Org)

山手の丘合同発表会

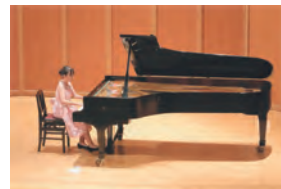
19年度より発表会は

秋と春、年2回の開催となりました。第6回は19年9月21日、リユニオンレッスンのガンバ受講生の部をはじめ、成人の出演者が比較的多い、落ち着いた雰囲気

の会となりました。第7回は3月28日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、開催を断念。一度は延期を企画しまし

たが叶わず参加者の皆様には大変申し訳ないことでした。自粛や混乱の日々にありながらも次の発表会への期待、またスタッフへの労いの言葉をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。今年度9月は開催を見送り、21年3月は開催を目指して準備を進めております。今後多くの皆様にご参加いただければ幸いに存じます。

担当 金子明子(43回)



リユニオンレッスン

昨年度は、「リユニオンレッスン」を二つ開講しました。

一つ目の『ヴィオラ・ダ・ガンバの愉しみ』は大学のヴィオラ・ダ・ガンバ13本を譲り受けたことを機に、神戸愉樹美さん(20回)によるレッスンを年間24回、コンソートを月1回行い、また昨秋に行われた「第6回山手の丘合同発表会」で披露しました。この楽器は短大時代から集められたもので、長年にわたり多くの学生が使ってきました。その時以来、数



十年振りという方々も集まりました。二つ目の『ドイツリートの調べ』は、田中奈美子先生による公開レッスンを2日

に分けて行いました。8組の卒業生が受講し、一般の方々にもご聴講頂きました。専門的なご指導の他、詩人や作曲家、先生のドイツ留学のお話などをユーモアたっぷりに楽しくお話くださいました。また年齢とともに変化する身体と演奏法の変化など、学生の頃には想像も出来なかった様なお話もとても印象に残りました。

今年度は、この二つの講座に加えてピアノの講座の開催も計画しておりましたが、新型コロナウイルスの影響で全ての講座が開催見送りとなりました。どうか一刻も早く平穏な生活に戻り、また皆様と音楽の喜びを共有出来る日が来ますようお願いしております。

担当 尾見恵美(45回)



フェリス音楽教室

子どもたちとともに65年

2020年度生徒募集中

大人向けレッスン受講生募集中

2歳児から高校生まで
毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>

045-212-2396

<緑園教室>

045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

音楽の贈り物

♪ Reunion Lesson

開講予定でした田中奈美子先生による声楽の公開レッスンと神戸愉樹美さんによる「ヴィオラ・ダ・ガンバの愉しみ」の二講座は、開催見送りとなりました。

♪ フェリス学院150周年記念音楽祭

150周年を記念してこの秋企画されておりました音楽祭は来年2021年秋に延期となりました。古楽による演奏会や拡大してお届けするジョイントコンサートなど豪華な内容となっております。

♪ 第8回 山手の丘合同発表会

2021年3月に予定していましたフェリスホールでの発表会は現在のところ開催が難しい状況です。外部ホールによる開催も視野に検討しております。感染予防策を講じて開催できるとの判断ができ次第、ご案内と募集を開始いたします。詳しくはFグループウェブサイトにて、ご確認ください。

お問合せ・お申込み Fグループ事務局

045-681-6740(木曜日10時~17時)

E-mail: ferris@fgroup.jp

新型コロナウイルスによりイベントが相次いで中止・変更となっております。お知らせはウェブサイトにて随時更新しておりますので是非ご覧下さい。

フェリス Fグループ



中田喜直先生 没後20年によせて 中田喜直子どもの歌研究会



城所 恵子(7回)

昭和30年代まだ戦後の復興期の頃、フェリス音楽科の短大時代に中田喜

直先生は和声学の講座の傍ら、NHKのラジオ子どものうた・その他の番組で活躍をしておられました。当時の音楽科科长三宅洋一郎ご夫妻はヨーロッパ研修から戻られ、ヨーロッパの響きの良い音を日本でもと音楽科の卒業生による日本初の女声コーラスフェリス女声合唱団を結成されました。合唱団ではほかの曲と共に中田先生の作品も初演し、録音にも参加させていただき、そこではピアノと歌ばかりでなく、小編成のオーケストラ伴奏への編曲や、指揮者として先生の作曲以外の活躍に接することができました。その中で先生と作品を更に深めたい気運から、先生の了解を得て中田喜直研究会が誕生しました。

当初はNHKで放送された曲のリストアップを、中休みを経て後半は初めての子どもの歌の曲集『かわいいかくれんぼ』にみる先生の実用和声学を学びました。どちらも子育てを経た時期に、毎月2時間の研究会で行ってきました。先生は歌詞を大事にされ、短い歌でも歌い流さずに歌詞に沿って伴奏を工夫されています。それをスタイルノートが大人のための楽譜集としてまとめでくださいました。CDは楽譜の順に沿って、SPやLPの頃の録音から音質・演奏共に良いものを選びCDに入れ直しました。中には新たに同窓生による歌と伴奏や、演奏学科の黒川浩先生・西由起子先生による演奏も入っています。

三浦洋一伴奏のフェリス女声合唱団のコーラスも十数曲聴かれます。楽譜ご希望はスタイルノート(チラシQRコードからも可)に、CDは左記のメールアドレスにご連絡ください。
Email nakadaken1923@gmail.com



支部だより

北支部

支部長 工藤 羊子(30回)

2019年北支部では、私の転居による多忙のため、ご報告できるような活動を行うことができませんでした。2020年の活動を模索していたところ、新型コロナウイルス流行の影響で移動や音楽活動の制限が始まってしまいました。

そのような中、北支部チャリティコンサートなどで演奏を共にした、山田なつきさん(42回)が49歳の若さで3月、天に召されました。ゴスペルによる伝道・指導など、充実した音楽活動をされていた直中での逝去となり、なつきさんの心情を考えますと、非常に切なくなります。なつきさんが多くの人に播いた希望の種、

私もこの志を胸に、同窓会の活動を含め音楽に携わり、歩んでいこうと強く思います。

中部支部

支部長 牛込 まり(25回)

昨年はコンサートを三回開催しました。ふれっしゅ・コンサートは同窓生が出演してくれましたが、日々研鑽を積んでおられるのに感動致しました。落合先生をお招きした秋のジョイントは、笑いの溢れる温かいコンサートになりました。



今年はふれっしゅコンサートを秋に組み込んで11月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止することになりました。

今年度より支部長が変わります。新メンバーをよろしく願っています。

関西支部

支部長 桐山 恵子(33回)

2019年は、9月26日に芦屋市「サロン・クラシック」の小ホールをお借りし、「気軽に弾いたり歌ったり聴き合ったりして楽しませよう」という会を持ちました。数人が「ぶっつけ本番」の歌やピアノの演奏を披露して音楽科ならではの楽しみ方をいたしました。その後の食事会では、初参加の方もあり、年代を超えて親交を深めることができました。今年に残念ながら集まることが叶いません

でした。会員の皆さまのご健康と再会を心から願っております。

九州・山口支部

支部長 小串 成美(25回)

昨年は7月5日にFグループチャリティコンサートを開催いたしました。大学から蔵田先生、戸田先生、黒川先生をお招きし、卒業生の山本紗英子(pf)、黒川青葉(vo)、後藤和子(pf)、高木梓(pf)に創立150周年記念企画として学部を越えて結成した合唱団も加わり多彩なプログラムで好評いただきました。収益金は音楽学部へ寄付いただきました。また11月1日の西南支部総会でもコンサートに出演した合唱団メンバーで数曲歌いました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため7月に予定していたコンサートは中止とし時機を見て改めて企画することにいたしました。

学年幹事会

5月14日(木)に予定されていた学年幹事会は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、例年のように集うことが叶いませんでした。

Fグループ会則第17条に基づき、書面にて幹事の皆様にご報告を郵送し、反対意見等が期日までに寄せられなかったことで承認されたこととし、ここにご報告いたします。来年行われる総会にて追認を予定しております。

担当 針生由利子(55回)

Fグループ2019年度決算報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

〈収入の部〉 (単位: 円)

項 目	決 算 額
終 身 会 費	400,000
総 会 会 費	74,000
ジョイント会費	228,900
研 修 会 会 費	0
ティータイム会費	1,268,750
合同発表会会費	1,135,200
宛 名 シ ー ル	1,000
グ ヅ 販 売	147,500
寄 付 金	191,200
雑 金 収 入	113,270
募金コンサート	0
小 計	3,559,820
前 年 度 繰 越 金	5,532,200
収入の部 合計	9,092,020

〈支出の部〉 (単位: 円)

項 目	決 算 額
(1) 運 営 費	1,341,849
会 議 費	4,668
印 刷 費	4,300
通 信 費	117,885
人 件 費	761,436
交 際 費	20,300
事務・消耗品費	68,822
備 品 費	0
出 張 費	0
交 通 費	268,500
学 年 幹 事 会 費	55,195
特 別 委 員 会 費	6,000
雑 費	3,833
予 備 費	30,910
(2) 活 動 費	3,291,577
総 会 関 係 費	494,121
研 修 会 関 係 費	0
ティータイム関係費	1,063,047
会 報 関 係 費	667,863
ジョイント関係費	70,137
リサイクル関係費	58,500
支 部 関 係 費	486,952
慶 弔 関 係 費	39,824
合同発表会関係費	411,133
募金コンサート	0
予 備 費	0
(3) 諸 会 費	370,000
連絡会維持費	70,000
維持協力会費	300,000
寄 附 金	0
(4) 積 立 金	0
名 簿 積 立 金	0
積 立 金	0
(5) 予 備 費	0
支 出 合 計	5,003,426
次 年 度 繰 越 金	4,088,594
支出の部 合計	9,092,020

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。2020年6月4日
Fグループ会計監査 井上 眞記子
太田 三美

女院中等部に入学いたしましたのが創立80周年の年でした。その年は大々的に式典が行われ、この日のために團伊玖磨先生が作曲された「詩篇148によるカンタータ」が三宅洋一郎先生の指揮のもと全校生徒によって演奏されました。その時のカイパー講堂に響きわたる歌声は今でも耳に残っております。また、この時に現在の校歌も作曲され初演いたしました。その後、90年に萩原英彦作曲「詩篇23篇によるカ



創立150周年
おめでとうございます
が、私がフェリス

中島恭子さんは、短大音楽科、音楽教室で後進のご指導にあたられ、Fグループの会長としてもフェリスにご尽力くださいました。中高短大とフェリス女学院で過ごされた中島さんに、今回150周年にあたりご在学当時の周年行事について伺いました。

中島 恭子(9回)

150周年特別寄稿

ンタータ」、100周年に團伊玖磨作曲「つばめの歌」110周年には三善晃作曲「詩篇頌詠」と新曲ができました。それぞれの新曲の演奏に参加させていただきました。大きな喜びでありました。フェリスの為に作曲されたこれらの曲がその後一度も演奏されていないことを大変残念に思っています。フェリスの伝統としてぜひ今後再演されますことを切に願っております。

フェリスの益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

150周年記念グッズのご紹介



クリスマスシリーズ



音楽シリーズ

岡崎光子さん(11回)デザインのチャリティーポストカード2シリーズ(各6柄入り)を500円で販売しております。

売上は全てフェリス女学院へ寄付いたします。ポストカードはHPまたは事務局にてご購入いただけます。

新役員紹介

- ・会計 平山 薫(35回)
- ・常任 A 嶋田 恵美(31回)
- ・常任 B 針生由利子(55回)

Fグループ事務局(木曜10時～17時)

・同窓会室(山手602)利用者からのご厚情56,200円を維持協力会へ寄付いたしました。(新型コロナウイルスによる入構自粛により20年6月に繰り越し手続)

・オールフェリス東京支部より10万円、神戸愉樹美さん(20回)より3万円、募金箱より5千円、19年度合計135,000円寄付を賜りました。心より感謝申し上げます。

・演奏会の後援、校章使用、同窓生の住所紹介(宛名シール)等については事務局へお問合せください。HPからも申請できます。

・住所・姓の変更、慶弔等、同窓生や先生方の情報は事務局へお寄せください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月よりFグループでは同窓会室事務局の開室を控えておりました。後期も感染拡大防止のため、大学の遠隔授業や学生の入構制限が継続されることから、同窓会事務局も当面の間、開室を控えることといたします。

事務局はメールのみ毎週木曜に対応しておりますが、郵便・電話への対応には時間がかかる可能性があります。不定期ではあります。臨時開室し、宛名シール等に対応いたします。お申込みは時間に余裕をもつてご相談ください。

尚、同窓会室(山手602)のご利用は学生が登校できる状況となるまで、卒業生のみなさまの利用もご遠慮いただくこととなりました。

詳細はウェブサイト等にてご確認ください。皆さまのご理解とご協力を、お願いいたします。

〒231-8651 横浜市中区山手町68
Tel. 045-681-6740
E-mail feris@fgroup.jp

Fグループホームページ
随時更新中!

https://fgroup.jp

Fグループ会報編集
福原洋子(46回) 藤原律子(47回)

